

## 大谷大学博物館 2019年度夏季企画展 「近代の東本願寺と北海道－開教と開拓－」を開催中

明治初期における東本願寺の北海道開教と開拓のあゆみを文献や絵画でたどります。  
また、北海道の名づけ親・松浦武四郎の著作なども紹介します。

**【期間】2019年6月9日（日）～7月27日（土）/※入場無料**

大谷大学(所在:京都市北区小山上総町)は、大谷大学博物館2018年度夏季企画展「近代の東本願寺と北海道－開教と開拓－」を、2019年6月9日(日)～7月27日(土)で開催しています。

大谷大学博物館は、真宗学・仏教学・歴史学・文学など世界的に貴重な典籍、考古遺物、民俗資料など約12,000点を所蔵。年4回の企画展と年1回の特別展を地域に広く公開し、文化財を間近でみることができる博物館です。

本年度の夏季企画展では「近代の東本願寺と北海道－開教と開拓－」をテーマに、急速に近代化が進む明治初期における、東本願寺と北海道の関わりについて、開教・開拓、そして同化政策への協力という側面も含めて紹介します。



### 【主な見どころ】

●幕末に刊行された蝦夷の地図で、カラフト・千島列島(クリル列島)・カムチャッカ半島まで描かれています。これ以前の地図ではカラフト島などの形が正確ではありませんでしたが、この地図ではかなり正確になっています。なお緯度・経度が示されていますが、これらは正確ではありません。(写真左)

●現如上人一行の蝦夷地開拓の様子を描いた錦絵。東京の甘泉堂[かんせんどう]という書肆から出版されたもので、一般に販売されたもののようです。2代目歌川国輝[くにてる](1830～74)や3代目歌川広重(1842～94)ら複数の絵師が手がけたもので、各場面の詞書[ことばがき]は「北海道人」(松浦武四郎の号)が書いています。(写真右)

<本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先>

大谷大学 企画課 安井・平岡・松尾 TEL: 075-411-8115 FAX: 075-411-8149

<一般の皆様からのお問合せ先>

大谷大学博物館 TEL: 075-411-8483 [http://www.otani.ac.jp/kyo\\_kikan/museum/](http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/)

- 日 時 2019年6月9日(日)～7月27日(土)10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 日曜日・月曜日(ただし、6/9(日)・7/14(日)は開館、8/3(土)～4(日)は特別開館)
- 場 所 大谷大学博物館(京都市北区小山上総町 大谷大学 響流館1F)  
 ※京都市営地下鉄烏丸線国際会館行「北大路」駅下車、6番出口すぐ  
 ※市バス「北大路バスターミナル」、「下総町」、「烏丸北大路下車」。
- 観覧料 無料
- 展示内容一覧

No.	作品名	員数	時代	材質・技法	形態	所蔵
<b>I 幕末日本と蝦夷地</b>						
01	『三国通覧図説』	1冊	江戸時代(18世紀)	紙本墨書	袋綴装	大谷大学図書館蔵
02	『三国通覧輿地路程全図写』	1舗	江戸時代(18世紀)	紙本著色	継紙	大谷大学博物館蔵
03	『蝦夷国全図写』	1舗	江戸時代(18世紀)	紙本著色	継紙	大谷大学博物館蔵
04	『唐太話』	1冊	明治24年(1891)	紙本活版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
05	『蝦夷閩境輿地全図』	1舗	嘉永7年(1854)	紙本木版	継紙	大谷大学図書館蔵
06	『北蝦夷図説』	4冊のうち	安政2年(1855)	紙本木版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
07	『終北録』	1冊	安政4年(1857)	紙本木版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
08	『皇国北極出地東西経度記』	1冊	文久2年(1862)	紙本木版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
09	『松前誌』	3冊のうち	明治時代(19世紀)	紙本謄写版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
10	『北蝦夷新志』	1冊	慶応3年(1867)	紙本木版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
11	『国郡全図』	2冊のうち	文政11年(1828)	紙本木版	袋綴装	大谷大学図書館蔵

<b>II 松浦武四郎と蝦夷地</b>						
12	『東西蝦夷路程便覧 壺の石』	1舗	嘉永7年(1854)	紙本木版	継紙	大谷大学図書館蔵
13	『後方羊蹄日誌』	1冊	安政6年(1859)	紙本木版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
14	『天塩日誌』	1冊	万延元年(1860)	紙本木版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
15	『石狩日誌』	1冊	万延元年(1860)	紙本木版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
16	『十勝日誌』	1冊	文久元年(1861)	紙本木版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
17	『久摺日誌』	1冊	文久元年(1861)	紙本木版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
18	『夕張日誌』	1冊	文久2年(1862)	紙本木版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
19	『知床日誌』	1冊	文久3年(1863)	紙本木版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
20	『納沙布日誌』	1冊	文久3年(1863)	紙本木版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
21	『西蝦夷日誌』	3冊のうち	文久3年(1863)～明治7年(1874)	紙本木版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
22	『東蝦夷日誌』	4冊のうち	慶応元年(1865)～明治11年(1878)	紙本木版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
23	『蝦夷年代記』	1冊	明治3年(1870)	紙本木版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
24	『東西蝦夷山川地理取調図』	26葉のうち	万延元年(1860)	紙本木版	一紙	大谷大学図書館蔵
25	『北海道国郡図』	1舗	明治2年(1869)	紙本木版	継紙	大谷大学図書館蔵

<b>III 東本願寺の開教と開拓</b>						
26	『厳如上人御一代記』	11冊のうち	明治時代(19世紀)	紙本墨書	袋綴装	大谷大学図書館蔵
27	『下間頼世等連署書状』	1冊	明治3年(1870)	紙本墨書	袋綴装	大谷大学博物館蔵
28	『越後長岡十八カ寺請文』	1通	明治3年(1870)	紙本墨書	継紙	大谷大学図書館蔵
29	『明治三年二月蝦夷地開拓日記』	1冊	明治3年(1870)	紙本墨書	袋綴装	大谷大学博物館蔵
30	『東本願寺蝦夷地開拓之図』	1巻	明治時代(19世紀)	紙本木版	卷子装	大谷大学図書館蔵
31	『東本願寺蝦夷地開拓之図』	1巻	明治時代(19世紀)	紙本木版	卷子装	大谷大学図書館蔵
32	『東本願寺蝦夷地開拓之図』	1幅	明治時代(19世紀)	紙本著色	掛幅装	大谷大学図書館蔵
33	『北海道志』	25冊のうち	明治17年(1884)	紙本活版	袋綴装	大谷大学図書館蔵
34	『北海開教記要』	1冊	大正4年(1915)	紙本活版	洋装本	大谷大学図書館蔵
35	『北海道国郡明細図』	1舗	明治2年(1869)	紙本木版	一紙	大谷大学図書館蔵

02「三国通覽輿地路程全図写」〔さんごくつうらんよちろていぜんずうつし〕

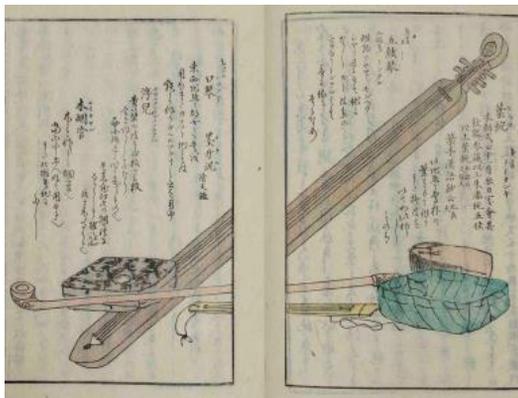
紙本著色 1舗 江戸時代（18世紀）大谷大学博物館蔵

林子平〔しへい〕の著書『三国通覽図説〔さんごくつうらんずせつ〕』（天明5年=1785刊）の付図である「三国通覽輿地路程〔よちろてい〕全図」を写したものです。琉球・朝鮮・蝦夷地の3国を色分けして描き、日本からの距離を示しています。

05「蝦夷闔境輿地全図」〔えぞこうきょうよちぜんず〕

紙本木版 1舗 嘉永7年（1854）大谷大学図書館蔵

幕末に刊行された蝦夷の地図で、カラフト・千島列島（クリル列島）・カムチャッカ半島まで描かれています。これ以前の地図ではカラフト島などの形が正確ではありませんでしたが、この地図ではかなり正確になっています。なお緯度・経度が示されていますが、これらは正確ではありません。



14『天塩日誌』〔てしおにっし〕

紙本木版 1冊 万延1年（1860）大谷大学図書館蔵

松浦武四郎の蝦夷地地理調査日誌。本書は北海道北部を流れる天塩川〔てしおがわ〕流域調査の記録です。

15『石狩日誌』〔いしかりにっし〕

紙本木版 1冊 万延1年（1860）

大谷大学図書館蔵

松浦武四郎の蝦夷地地理調査日誌。本書は石狩川流域調査の記録です。安政4年（1857）4月、函館港を出発した武四郎は、アイヌの人びとに案内されながら、難所を越えて石狩川流域をめぐるしました。植物や地理、現地の人びとの生活の様子などが絵とともに紹介されています。



30「東本願寺蝦夷地開拓之図」〔ひがしほんがんじえぞちかいたくのず〕

紙本木版 1巻 明治時代（19世紀）大谷大学図書館蔵

現如上人一行の蝦夷地開拓の様子を描いた錦絵。東京の甘泉堂〔かんせんだう〕という書肆から出版されたもので、一般に販売されたもののようです。2代目歌川国輝（1830～74）や3代目歌川広重（1842～94）ら複数の絵師が手がけたもので、各場面の詞書〔ことばがき〕は「北海道人」（松浦武四郎の号）が書いています。

【FAX返信先：06-4393-8216】

《FAX返信用紙》

大谷大学 広報担当 安井・平岡・松尾 宛

**大谷大学博物館 2019年度夏季企画展**

**「近代の東本願寺と北海道－開教と開拓－」開催中**

明治初期における東本願寺の北海道開教と開拓のあゆみを文献や絵画でたどります。  
また、北海道の名づけ親・松浦武四郎の著作なども紹介します。

**【期間】2019年6月9日（日）～7月27日（土）/※入場無料**

**□ご取材（ 月 日 時頃）**

媒体名		
御社名		
部署名		
ご芳名	計 _____ 名様	
連絡先	TEL	FAX
当日のご連絡先	携帯TEL	
《備考欄》 ご取材につき、ご要望・ご質問等ございましたら、ご記入願います。		